

令和 7（2025）年度
FD・SD 活動報告書

和泉大学
FD・SD 委員会

目 次

はじめに	2
活動の概要	3
1. 2025 度 FD・SD への取り組み理念・目的	3
2. FD・SD 活動の組織・体制	3
3. 活動実績	4
4. FD・SD 研修会記録	7
5. 授業評価アンケート分析結果	14
FD・SD 委員会規程	18

《はじめに》

本学を取り巻く厳しい状況の中、2025年度も多くのご協力を得て、大学にとって最も重要な教育と、それを支える教職員の教育法・資質向上を目的としたFD・SD活動を実施しました。本報告書は、FD・SD研修会の実施内容や授業評価集計結果をまとめたもので、教職員の教育・研究活動の参考として各層で有意義にご活用いただければ幸いです。

本学では2007年度より、開講授業に対し受講者による評価を開始しています。2025年度も、学生や非常勤を含む教員の協力、事務職員の尽力により、集計・報告をまとめることができました。厚く御礼申し上げます。

授業評価の目的は、教育の中心である授業の質を高めることにあります。学生の評価は、成績等への影響がないよう十分配慮した上で集計しました。本報告書には質問項目別の全体集計結果を記載しており、各科目別の詳細は個別にフィードバックが可能です。ただし、現時点では科目別結果の公表には至っていません。

先生方には、全体平均と比較しながら自身の授業運営を見直し、可能であれば残りの授業にも反映していただくことを期待しています。授業評価を通して、学生からの受け止め方を自己評価し、さらなる改善と自己研鑽に努めていただきたいと思います。

2026年度も、引き続き遠隔授業に関する項目を継続して評価を行う予定です。評価の蓄積が授業改善に役立ち、教員にとっては授業設計や運営の再考、学生にとっては授業への主体的な取り組みを促す機会になればと期待しています。授業の質の向上とともに、より良い教育環境の実現を目指します。

アンケートの取りまとめと報告書の作成はFD・SD委員会が担当し、実施は学務係、分析はIR室の協力を得て行いました。最後に、委員の皆様、担当職員の方々に心より感謝申し上げます。

2026年5月

FD・SD委員会
委員長 塚本 能三

活動の概要

1. 2025 年度 FD・SD への取り組み理念・目的

建学の精神「夢と大慈大悲」、教育理念「知育」と「人間性を育む」を達成するために、FD・SD 活動を通じて教育・研究活動等を活性化させる。

大学全入時代に突入し、本学学生が学力不足であることは否めない。専門にとらわれず、大学生として（あるいはセラピストとして）求められる基礎的な学習技能や学修態度（論理的思考、批判的思考）について大学教育を通じて培う必要がある。

そのため、教職員の教育・研究活動等の能力向上を図る必要がある。FD・SD 研修や授業評価等を行い、授業の内容及び方法の改善等を目的とする。

以上の理念・目的から、教職員は本研修に必ず参加することとする。

2. FD・SD 活動の組織・体制

FD・SD 委員会を中心に実施し、各種委員会と適宜連携して取り組む。

3. 活動実績

(1) 2025 年度 FD・SD 研修会実績

2025 年度は以下のテーマで全 7 回の FD・SD 研修会を開催した。欠席者に対しては、研修内容の研修動画の配信及び資料の配布によるフォローアップを行った。

回	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	4 月 8 日	「建学の精神と事業計画」 「令和 8 年度の和泉大学名称変更および新専攻開設に向けた広報について」	教員 34 名 職員 24 名
第 2 回	6 月 3 日	自己紹介及び研究発表 2026 年度に向けた学生募集広報 2024 年度 授業評価フィードバック	教員 34 名 職員 25 名
第 3 回	8 月 5 日	コンプライアンス教育 研究倫理教育 科研費説明	教員 40 名 職員 30 名
第 4 回	9 月 2 日	和歌山県高校生の医療系進路傾向及び言語力・文章力指導について 15 年間の国家試験対策を通して	教員 36 名 職員 25 名
第 5 回	10 月 7 日	15 年の国家試験対策を通して～実際の国試対策～	教員 31 名 職員 26 名
第 6 回	12 月 9 日	2025 年度前期授業評価フィードバック シラバスについて 障害者差別解消法と合理的配慮理解度テスト	教員 28 名 職員 26 名
第 7 回	3 月 3 日	NPO 法人日本学び協会ワンモア事業紹介 大学院 2025 年度教育報告と 2026 年度変更点	教員 31 名 職員 26 名

(2) 学生による授業評価アンケート

① 対象授業科目

以下の科目を除く全科目を対象に実施

(臨床見学実習、臨床実習概論、臨床検査・測定実習、臨床基礎実習、臨床総合実習Ⅰ、臨床評価実習、臨床総合実習Ⅱ、臨床総合実習、卒業研究、卒業論文)

② 実施時期、方法

期末、web形式で実施

③ アンケート項目

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

④ フィードバック

個別フィードバック及びFD・SD研修会による全体のフィードバック

⑤ 回収率 (回収授業科目数 / 対象授業科目数)

前期：37.8% 後期：38.8%

回答率 (回答数 / 履修人数)

前期：51.5% 後期：50.0%

⑥ 各分析結果

「5. 授業評価アンケート分析結果」参照

4. FD・SD 研修会記録

研修会記録

司会：大嶋 伸雄

研修会名	2025 年度 第 1 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 4 月 8 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
出席者 オンラインを含む	【教員】34 名 【職員】24 名 計 58 名 内 オンデマンド【教員】 7 名 【職員】 8 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
建学の精神と事業計画	武田学長	別添の資料をもとに建学の精神と令和 7 年度の事業計画について説明があった。
令和 8 年度の和泉大学名称変更および新専攻開設に向けた広報について	中裕広報委員長	スライドをもとに大学名称の変更および新専攻に関する説明が行われた。 大学名称変更については、河崎学園の沿革を踏まえた背景が紹介され、新専攻については、ヘルスプロモーション専攻で目指す方向性やカリキュラムの特徴等に関する説明があった。 あわせて、これらに伴う 2025 年度の広報活動の方針についても説明が行われた。

【配布資料】

- ・令和 7 年度 事業計画書

研修会記録

司会：塚本 能三

研修会名	2025 年度 第 2 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 6 月 3 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者 オンラインを含む	【教員】34 名 【職員】25 名 計 59 名 内 オンデマンド【教員】 7 名 【職員】 3 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
自己紹介及び研究 発表 (2025 年着任教員)	学部長 理学療法学専攻 長 教授 金尾 顕郎 先生	「2つの大学勤務で学んだこと」のタイトルで自己紹介を含んだ研究発表があった。
2026 年度に向けた 学生募集広報 ①夏季高校訪問について ②ヘルスプロモーション専攻の進捗状況について	中村 広報委員長	スライドをもとに指定校訪問および新専攻の進捗状況について説明が行われた。 指定校高校訪問については、訪問期間や指定校の入学者数推移、訪問時の留意点、情報発信のポイント等について説明があった。新専攻については、ヘルスプロモーション専攻で目指す方向性やカリキュラムの特徴等に関する説明があった。
2024 年度授業評価 フィードバック	塚本 FD・SD 委員長	2024 年度の授業評価アンケート集計結果について説明があった。

【配布資料】

なし

研修会記録

司会・記録 水野貴子

研修会名	2025 年度 第 3 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 8 月 5 日（火）10：45～12：00
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
出席者 オンライン等含む	【教員】40 名 【職員】30 名 計 70 名 内 オンデマンド【教員】11 名 【職員】9 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
コンプライアンス教育	松岡 事務局長	松岡事務局長からスライドをもとに令和 7 年度コンプライアンス教育について講義があった。研究費の不正使用を「しない」「させない」「見逃さない」という意識・風土作りに取り組むように説明があった。
研究倫理教育	中村 研究倫理委員長 大原 総務係員	中村研究倫理委員長から研究倫理教育について講義があり、続いて事務局から研究倫理審査の申請方法について説明があった。
科学研究費説明	大岡 総務課長補佐	大岡総務課長補佐から、近年の科研費採択動向等の説明、令和 7 年度における科研費の主な変更点、また学内提出期限日の説明があった。

【配布資料】

- ・ 令和 7 年度 コンプライアンス研修 ～研究費等の適正な使用について～
- ・ 研究倫理について
- ・ 研究倫理審査について
- ・ 令和 8(2026)年度 科学研究費助成事業の公募について

研修会記録

司会・記録 岸村 厚志

研修会名	2025 年度 第 4 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 9 月 2 日（火）10：45～12：10
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
出席者 オンライン等含む	【教員】36 名 【職員】25 名 計 61 名 内 オンデマンド【教員】 6 名 【職員】 7 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
和歌山県高校生の医療系進路傾向及び言語力・文章力指導について	非常勤講師 山崎 澄子 先生	和歌山県では医療系への進路希望が高く、専門学校よりも大学志望の割合が多いこと、特に通学可能な範囲にあるスポーツ医学系分野の人気の高いことをお話しいただいた。また、国家試験の設問が複雑化している現状から、国語力が求められている点についてもご講演いただいた。併せて、言語力や文章作成力を高めるための具体的な方法についてもご解説いただいた。
15 年間の国家試験対策を通して	外部講師 高橋 麻紀 先生	過去 15 年間にわたり学生を国家試験に向けてご指導されてきたご経験についてご講演いただいた。国家試験の合格率向上においてグループ学習が有用であることをご解説くださり、また、学生が安心して学習に集中できる環境づくりについても、具体的な取り組み方法をご教示いただいた。

【配布資料】

- ・和歌山県高校生の医療系進路傾向及び言語力・文章力指導について レジюме
- ・15 年間の国家試験対策を通して レジюме

研修会記録

司会・記録 河野 良平

研修会名	2025 年度 第 5 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 10 月 7 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者 オンライン等含む	【教員】31 名 【職員】26 名 計 57 名 内 オンデマンド【教員】 4 名 【職員】 6 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
15 年の国家試験対策を通して～実際の国試対策～	外部講師 高橋 麻紀 先生	第 4 回 FD・SD 研修会に引き続き、高橋真紀先生より、国家試験対策についてご解説いただいた。教科書の選定方法、年間スケジュールの立て方、グループワークの進め方など、より具体的な対策方法について詳しくご説明いただいた。

【配布資料】

- ・ 15 年の国家試験対策を通して～実際の国試対策～ レジュメ

研修会記録

司会・記録 村上 達典

研修会名	2025 年度 第 6 回 FD・SD 研修会
実施日時	2025 年 12 月 9 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 4 階 第 2 中講義室
出席者 オンライン等含む	【教員】28 名 【職員】26 名 計 54 名 内 オンデマンド【教員】 4 名 【職員】 6 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
2025 年度前期授業評価フィードバック	塚本 FD・SD 委員長	塚本 FD・SD 委員長より、2025 年度前期授業評価アンケートの全体をまとめたフィードバックが行われた。
シラバスについて	岡田教務委員長	私立大学等改革総合支援事業の選定項目を踏まえて作成すること、また、POS 専攻と HP 専攻における評価方法の違いをシラバス上で明記することや、授業内容について学生に分かりやすいよう具体的に記載することなど、シラバス作成における留意点について説明があった。
障害者差別解消法と合理的配慮理解度テスト 〈依頼団体 筑波大学〉	堺学生相談支援室長	本学における合理的配慮の件数や内容等の実情について説明があり、あわせて「障害者差別解消法と合理的配慮理解度テスト」が実施された。

【配布資料】

- ・ 2025 年度前期授業評価フィードバック
- ・ シラバス変更点
- ・ 障害者差別解消法と合理的配慮理解度テスト

研修会記録

司会・記録 上田 有紀人

研修会名	2025 年度 第 7 回 FD・SD 研修会
実施日時	2026 年 3 月 3 日（火）10：40～12：10
場所	1 号館 3 階 第 1 中講義室
出席者 オンライン等含む	【教員】31 名 【職員】26 名 計 57 名 内 オンデマンド【教員】 2 名 【職員】 3 名

研修形式と内容	講師	研修記録（概要）
NPO 法人日本学び協会ワンモア事業紹介 「見えないリスクに気づき、つながりで守る～医療・福祉職の学生・卒業生への早期支援のために～」	芳賀 大輔 先生	芳賀 大輔 先生より、NPO 法人日本学び協会ワンモアについて、事業内容の紹介が行われた。
大学院 2025 年度教育報告と 2026 年度変更点	中村研究科専攻長	2025 年度の大学院活動および学生授業評価アンケート結果の詳細について報告があった。また、第 4 回河リハ・シニア健康講座における参加者数ならびに男女別の推移についても報告があった。さらに、2026 年度からの領域名の変更ならびにアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラムの変更について報告が行われた。

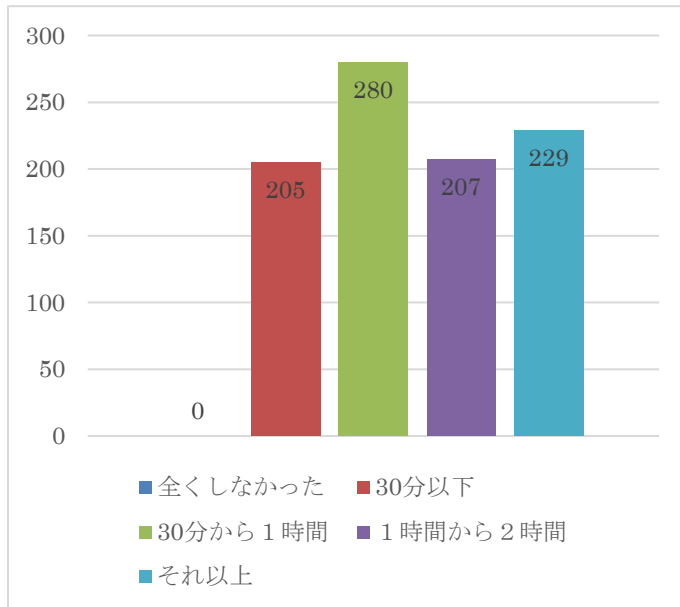
【配布資料】

- ・ NPO 法人ワンモア事業の紹介について
- ・ 大学院 2025 年度教育報告と 2026 年度変更点

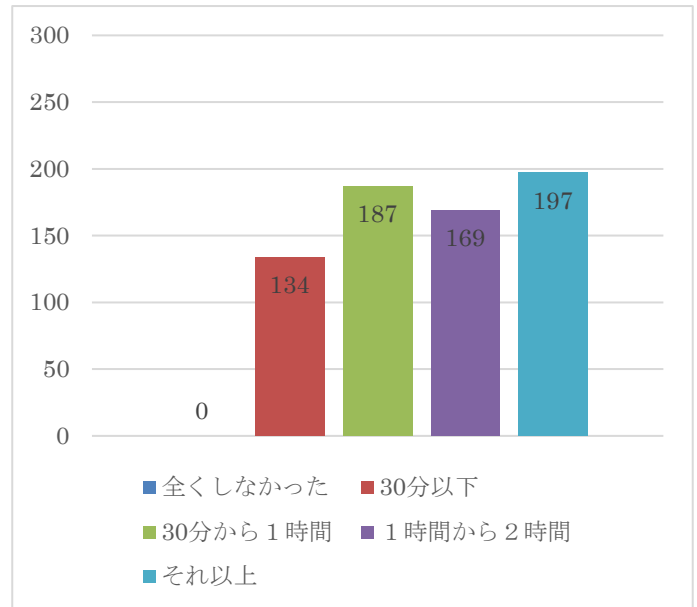
5. 授業評価アンケート分析結果

1. この授業の予習・復習・レポートの作成等に1週間で何時間取り組みましたか。

【前期】

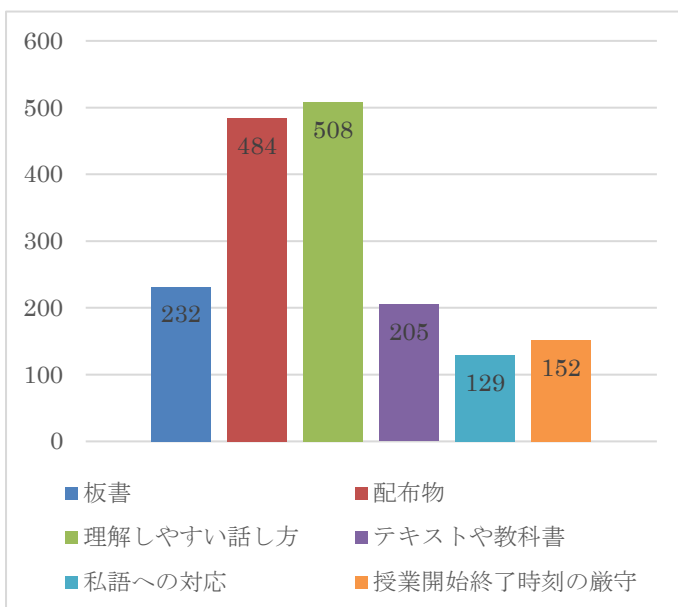


【後期】

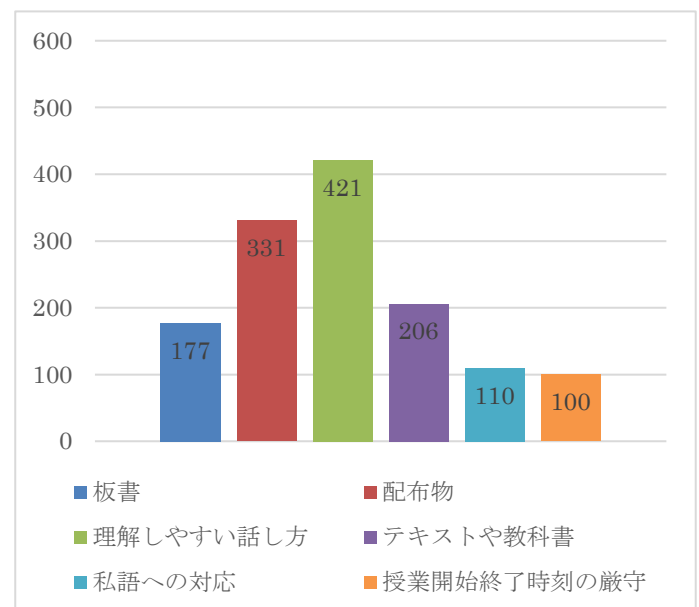


2. この授業で良かった点を全て選んでください。

【前期】

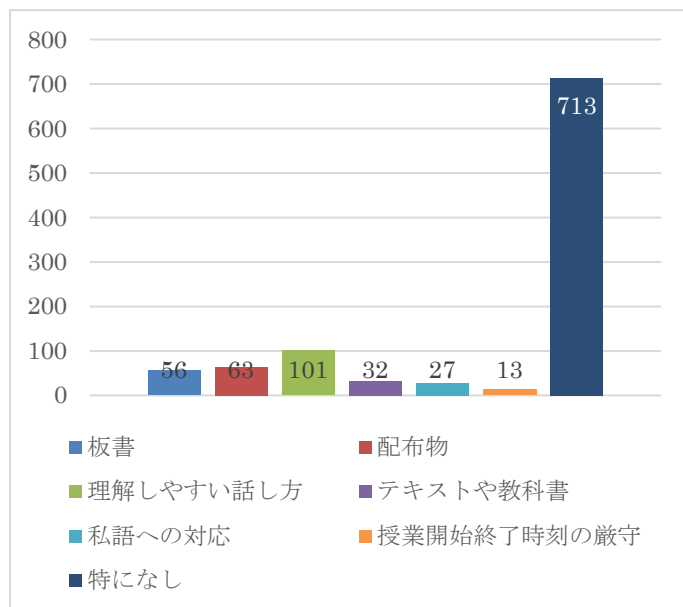


【後期】

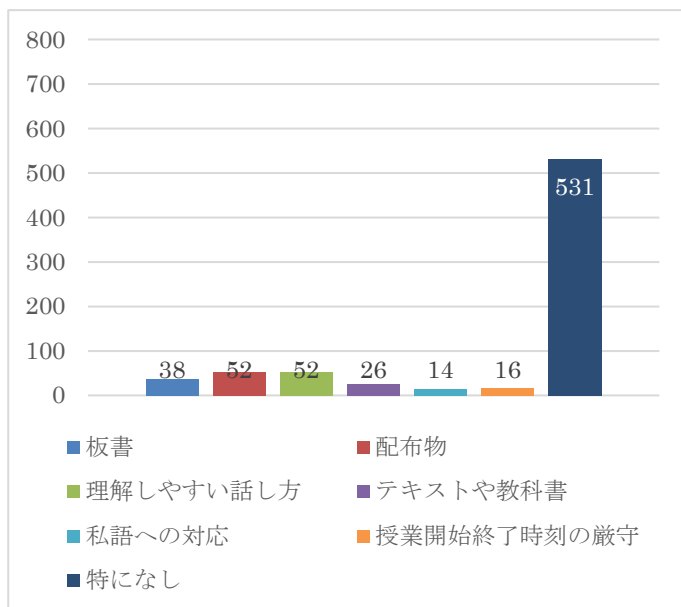


3. この授業で改善してほしい点を全て選んでください。

【前期】

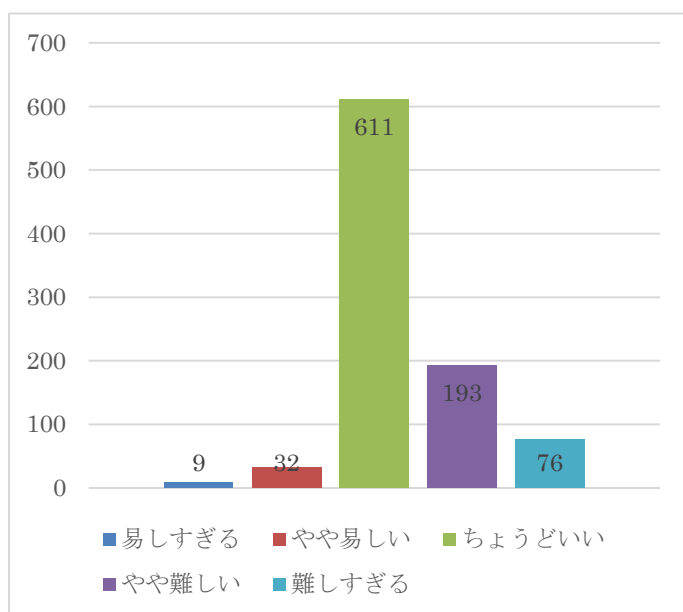


【後期】

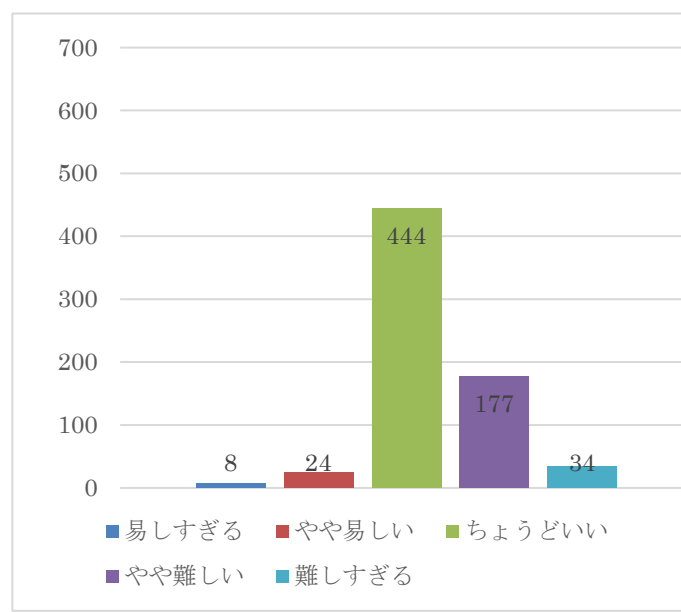


4. 授業の難易度は適切で理解可能な範囲でしたか。

【前期】

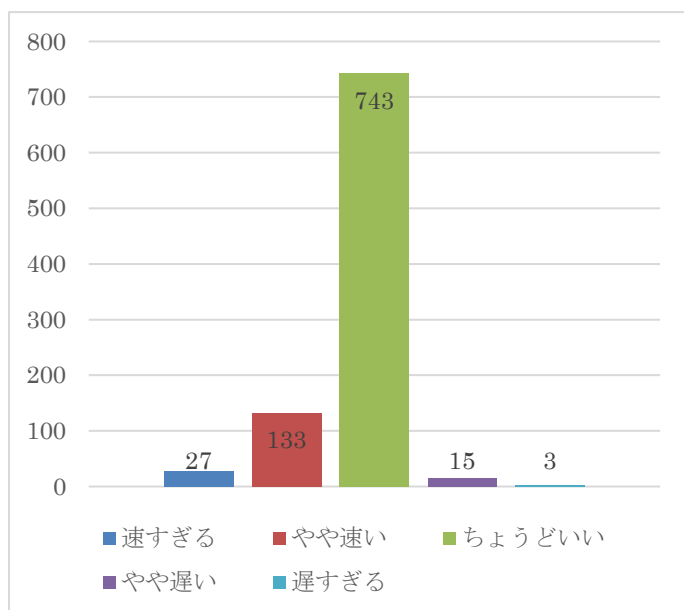


【後期】

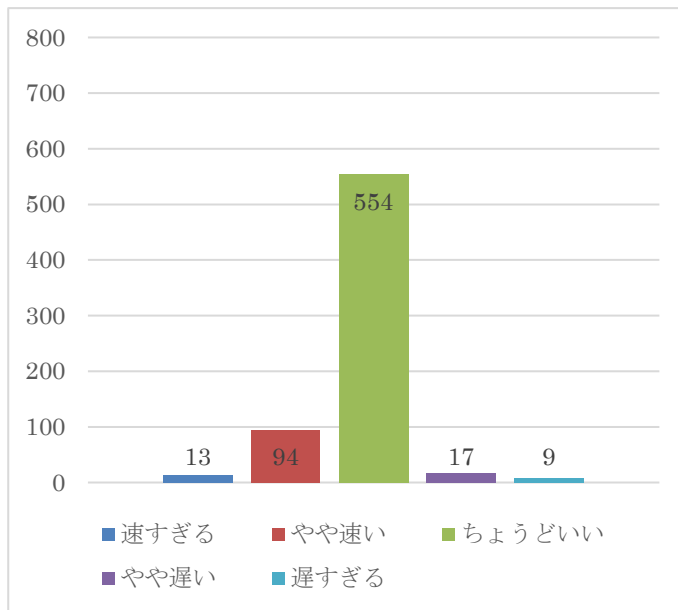


5. 授業の進度は適切でしたか

【前期】

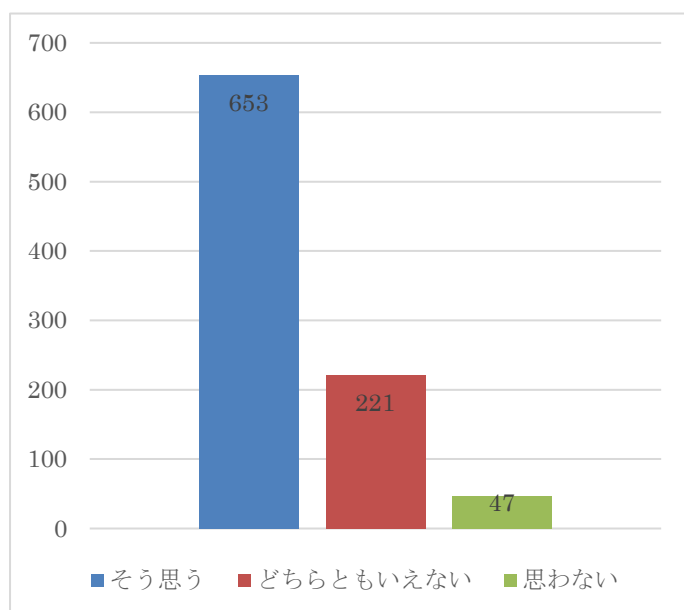


【後期】

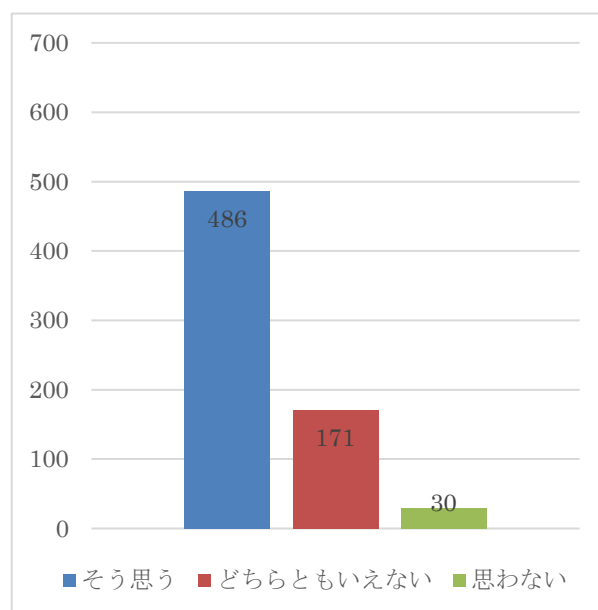


6. 教員は学生に授業への参加（質問・発言・自主的学習）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

【前期】

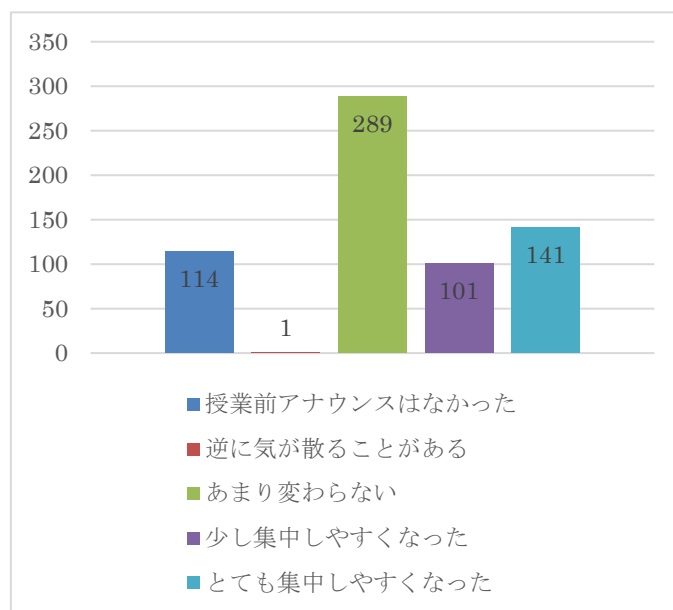


【後期】



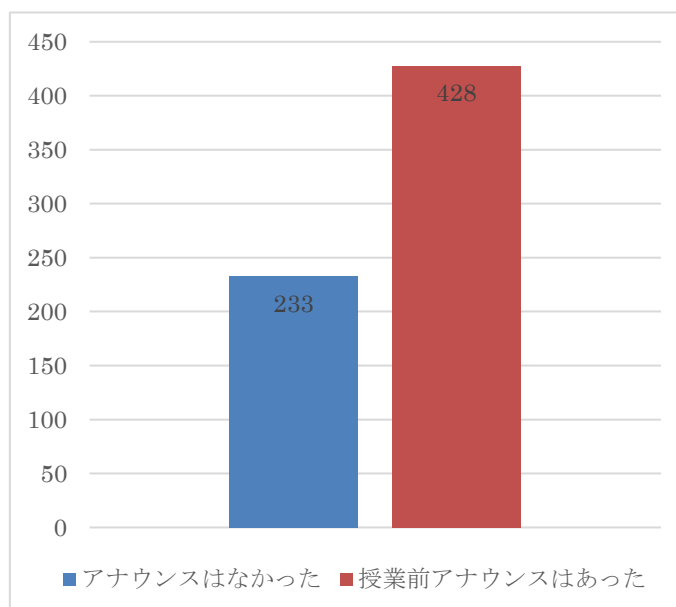
7. 授業前アナウンス（授業態度に関する注意事項）があることで、授業への集中に変化はありましたか？

【後期】



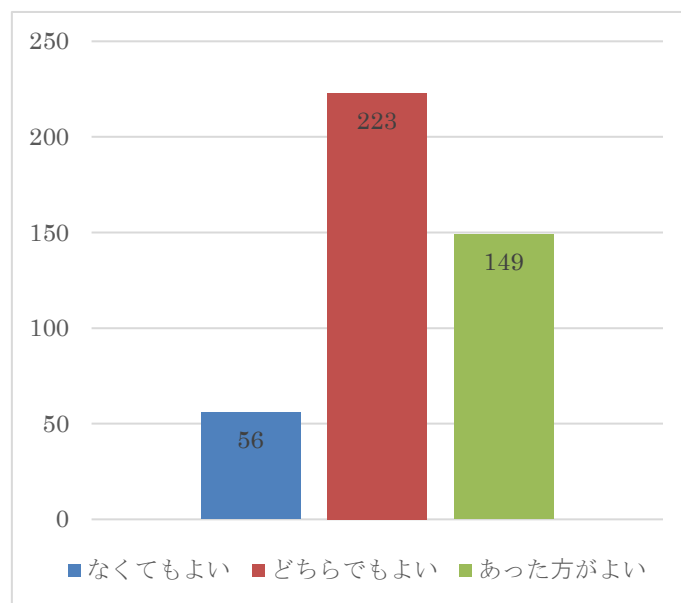
8. 授業前アナウンス（授業態度に関する注意事項）は実施されていきましたか？

【後期】



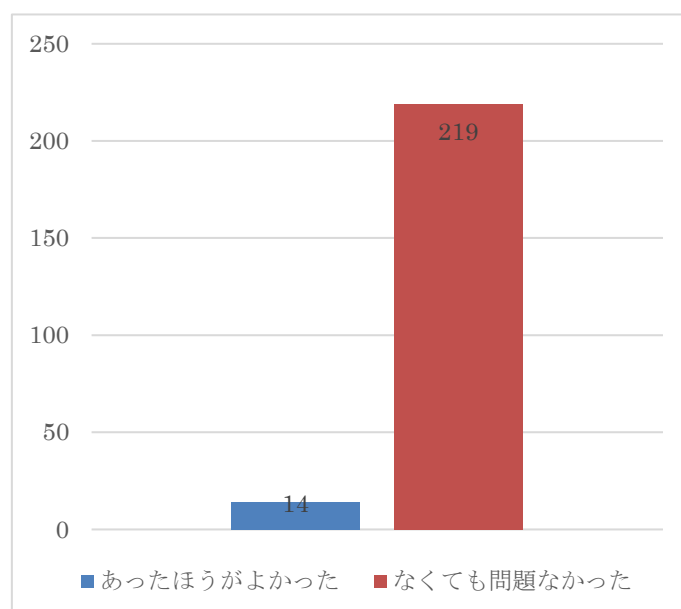
9. 「授業前アナウンス」(授業態度に関する注意事項)についてどのように思いますか？

【後期】



10. 「授業前アナウンス」(授業態度に関する注意事項)がないことについてどのように思いますか？

【後期】



11. Teams を使った授業（オンライン授業）について自由に記載してください。

内 容	前 期	後 期
肯 定 的 意 見 等	13 件	6 件
改 善 要 望 等	0 件	5 件

12. その他コメントや感想を記入してください。

内 容	前 期	後 期
肯 定 的 意 見 等	405 件	216 件
改 善 要 望 等	68 件	62 件

※大学院授業評価アンケートは別紙参照

平成 29 年 9 月 19 日

大学規程第 5 号

(設置)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）は、本学の建学の精神及び教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を積極的に推進するために、FD・SD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学の教育・研究内容及び教育方法の向上及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員の能力並びに資質向上のため、全学的な取組みを推進することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は次の構成員で組織する。

(1) 学長が任命した者 5 名程度

（学部及び研究科の各専攻の教員 1 名以上を含む）

(2) 事務職員 若干名

2 事務職員は、学長、事務局長の協議に基づき、学長が指名する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、これを補充しなければならない。ただし、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の中から学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故又は支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

6 委員長は重要な事項については教授会に提案し、了承を求めなければならない。

(協議事項)

第 5 条 委員会は、次の事項を協議する。

- (1) FD・SD 研修の企画・実施
- (2) 学生による授業評価の結果分析及びフィードバックに関する事
- (3) FD・SD 活動に関する情報の収集と提供に関する事
- (4) その他 FD・SD の推進に関する事

2 前号第 1 号に規定する FD・SD 研修の実施に当たり、委員は講師候補者推薦書(様式第 1 号)を委員長に提出することができる。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(事務)

第 7 条 委員会の事務は、総務係が行う。

(改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、教授会に諮り、学長が行う。

(補則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この規程は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、平成 17 年 12 月 5 日施行の「大阪河崎リハビリテーション大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、廃止する。

附 則 (平成 31 年 3 月 25 日大学規程第 31 号)

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 3 年 3 月 16 日大学規程第 15 号)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 4 年 4 月 1 日大学規程第 3 号)

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 6 年 3 月 12 日大学規程第 16 号)

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。